

令和元年度 森林環境税関係事業の概要

1 森林環境税

(1) 税の目的 森林環境の保全及び森林をすべての県民で守り育てる意識の醸成に関する施策に要する財源の確保

(2) 課税の仕組み

個人	現行の県民税均等割額に500円を加算
法人	現行の県民税均等割額に均等割額の5%相当額を加算

(3) 税収見込額等 (3月補正後)

(単位：千円)

税収見込額	452,175
徴収取扱費	18,787
関係事業費	433,388



(森林環境税シンボルマーク)

2 森林環境税関係事業の概要

(単位：千円)

事業名・事業概要等	3月補正後予算額 (森林環境税充当額) [地方創生推進交付金]
1 森林(もり)にまなびふれあう推進事業 広く県民の森林・林業に対する理解を深めるとともに、森林をすべての県民で守り育てる意識の醸成を図るため、森林にふれあう機会の提供や森林環境教育を実施するとともに、県民が自ら実施する森林・林業とのふれあい活動や森林づくり実践活動等を支援	27,978 (22,548) [5,430]
① 森林(もり)とのふれあい推進事業 ・森林にふれあう機会や森林整備を体験する機会の提供 ・森林・林業に関するふれあい体験活動の支援	19,396 (17,731) [1,665]
② 未来につなぐ森林環境教育推進事業 ・児童・生徒に対する森林環境教育の実施 ・森林環境教育指導者研修の実施 ・緑の少年団の活動推進	6,769 (3,879) [2,890]
③ 多様な主体による森林(もり)づくり推進事業 ・企業による森林(もり)づくり活動の支援 ・森林ボランティアの技術研修や若年層の活動促進	1,813 (938) [875]
2 森林(もり)をまもりそだてる整備事業 良好な森林環境を創出し、将来にわたってすべての県民が森林の恩恵を享受することができる健全な森林を育成するため、間伐・植栽等の森林整備や地域特性を活かした森林づくり、県産材の利用拡大の取組を支援	410,840 (410,840)
① 未来につなぐ森林(もり)づくり推進事業 ・森林(もり)づくり推進活動の支援 ・公益的機能の増進のための間伐等の森林整備や路網等整備の支援 ・人工林伐採跡地における再造林等の推進	310,529 (310,529)
② 里山林総合対策事業 ・幹線道路沿線や里山林等の公益上重要な森林の整備 ・離島などスギ・ヒノキの少ない地域における地域特性を活かした森林整備等 ・被害松林の樹種転換、奄美地域の集落後背地の松の薬剤樹幹注入	55,671 (55,671)
③ 木のあふれる街づくり事業 ・県産材を利用したモデル製品の設置やモデル施設の整備 ・木製品の開発及び県産材利用の普及 ・東京オリ・パラの知名度を活かした「かごしま材」のPR	44,640 (44,640)
合 計	438,818 (433,388) [5,430]